

推薦書

一般社団法人 公認心理師の会

理事長 殿

氏 名 _____

上記の者は、医療領域における心理臨床実践のコンピテンスについて、一定の基準を満たしていると考えられるため、「医療専門公認心理師」に推薦いたします。

※推薦者が複数名で推薦書が複数枚に渡る場合、評価をご担当いただくコンピテンスの担当欄にチェック(✓)を入れてください。推薦者がお一人による1枚の推薦書の場合は、担当欄へのチェック(✓)は不要です。

カテゴリー	コンピテンス	コンピテンスの詳細	担当欄(※)
I. 科学者－実践家の基礎	心理師としての倫理	<ul style="list-style-type: none"> 患者の主体性や尊厳を尊重している 倫理的配慮を実践している 情報を適切に取り扱っている 	
III. チーム医療	組織アセスメント	<ul style="list-style-type: none"> 組織（医療機関、所属部署）のアセスメント（心理的援助のニーズや指示伝達系統の把握）ができる 組織の一員としての責務を果たす態度を備えている（会議や職員研修の参加など） 社会全体における実践の位置づけを、社会動向・政策動向を把握しつつ俯瞰できる態度を備えている 	
	他職種とのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> コンサルテーション技能を備えている 他職種とのコミュニケーション能力を備えている 精神症状や心理的支援に関する説明能力を備えている 	
	他職種理解	<ul style="list-style-type: none"> 他職種のアセスメントができる 	
	情報収集と共有	<ul style="list-style-type: none"> 適切なカルテ記載ができる カルテ、患者、他職種等から情報を収集することができる いつ誰にどの情報をどこまで伝えるかを適切に判断し、情報を共有することができる 遅延なく的確に情報共有する態度を備えている 	
	チームワーク	<ul style="list-style-type: none"> チーム運営の支援ができる 医療領域でチームワークを築くことができる（チーム STEPPS など） 当事者と組織両方のニーズに即して支援する態度を備えている チーム内キーパーソンを特定することができる 医療専門職としての自覚として、自己完結、自己責任の態度を備えている 組織をマネジメントすることができる チーム内での心理師の役割を理解する態度を備えている チームの方針に沿った役割を遂行する態度を備えている 	
IV. 心理アセスメント	精神症状のアセスメントと鑑別	<ul style="list-style-type: none"> 精神症状と身体症状の基本的な鑑別ができる 人格・情動・精神症状のアセスメントができる 特に大うつ病、統合失調症、双極性障害のアセスメントができる 精神症状のリスク評価ができる 	
	心理検査	<ul style="list-style-type: none"> テストバッテリーを適切に組み合わせることができる 各種心理検査の選択と実施ができる（構造化面接法、発達および知能検査、人格検査、認知機能検査、その他の心理検査、各種心理評定尺度） 	
	所見作成とフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> 所見作成とフィードバックができる 	
V. 心理的介入	精神症状への介入	<ul style="list-style-type: none"> 精神症状に対する基本的な対応ができる（認知行動療法など） 	
	当事者・家族とのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 患者・家族に適切に情報提供するためのコミュニケーションスキルを備えている 患者・家族と適切にコミュニケーションができる 心理的支援の内容を言語化し、患者・家族に伝えることができる 共同意思決定を推進することができる 	

推薦者

所属機関 _____

職 名 _____

日 付 _____ 年 _____ 月 _____ 日

氏 名 _____ 印 _____